

災害時における避難者の避難場所の確保に向けて 神奈川県旅館ホテル生活衛生同業組合と協定を締結しました！

横浜市では、災害時における避難者の安全確保や避難生活環境の向上を図るため、避難場所の確保に向けた取組を進めています。

このたび、横浜市と神奈川県旅館ホテル生活衛生同業組合は、「災害時における避難場所の確保に関する協定」を締結しました。

本協定により、災害時に避難所の不足や避難生活の長期化が見込まれる場合に、市内の旅館・ホテルを避難場所として活用するための協力体制を構築し、避難対策の充実を図ります。

1 締結日

令和 8 年 8 月 10 日（月）

2 覚書の概要

大規模地震や風水害等の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、横浜市から神奈川県旅館ホテル生活衛生同業組合へ協力を要請し、市内の組合加盟宿泊施設を避難場所として活用します。



↑ 締結式の様子

左： 石田理事長

右： 平中危機管理監

（参考）神奈川県旅館ホテル生活衛生同業組合について

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町湯本 211-1

設立：昭和 33 年 10 月 14 日

理事長：石田 浩二 氏

組合施設数：327 施設（うち横浜市内 59 施設）

※神奈川県とは令和 2 年 7 月 28 日に「災害時における避難所等確保の支援に関する協定」を締結しています。

お問合せ先

地域防災課 避難等支援担当課長 田中

Tel 045-671-4360



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

